

第500回核燃料施設の新規制基準適合性に係る審査会合
日本原燃株式会社 設工認申請の対応状況に係る審議結果

2023年10月13日

新基準適合性審査チームから以下の事項を指摘した。また、事業者から全ての指摘事項について了解し、今後、適切に対応していく旨、回答があった。

【耐震設計】

- ① 東側地盤の地震観測位置は、東側地盤全体を代表できるような場所とは言い難く、今回説明のあった検討内容は、ある特定の場所での記録や結果であること、また、岩盤の非線形性等も現時点のデータからの推測でしかないなど、今後、地盤モデル設定に関しては、こうしたことに留意して、検討を進める必要がある。
- ② 日本原燃は、現時点においてデータに丁寧に向き合う姿勢がみられ評価できる。今後、様々なデータの分析、解析結果を踏まえ、地盤モデルの設定をする必要があるが、引き続き、データに真摯に向き合い、そのデータの持つ意味、適用条件や範囲等を科学的にみて、根拠を持って地盤モデルの妥当性を説明すること。

【構造設計等】

- ③ MOX 燃料加工施設については、グローブボックスで整理した設計の説明方針に基づき、今後説明する設備に対してもしっかり整理して説明すること。
- ④ 再処理施設・廃棄物管理施設については、設備の分類及び説明グループの設定において、説明する単位毎に対象設備に対する説明内容を明確にすること。